

最大10億円規模を投資 AI/IoT 実証プラットフォーム事業「ひろしまサンドボックス」

## 株式会社エネルギー・コミュニケーションズと連携協定締結！

広島県は、AI、IoT、ビッグデータ等のデジタル技術の利活用により、これまでにない新しいソリューションを創り出し、県内企業が新たな付加価値の創出や生産効率化に取り組むための実証実験の場「ひろしまサンドボックス」を構築し、県内外の企業や人材を呼び込み、様々な産業、地域課題の解決に取り組むこととしております。

本事業を推進するため、ソフトバンク株式会社、西日本電信電話株式会社に続き、株式会社エネルギー・コミュニケーションズと「AI・IoT等の利活用推進による地域活性化に関する協定」（平成30年5月29日）を締結しました。

### 1 協力内容

株式会社エネルギー・コミュニケーションズが保有するIoTプラットフォームや技術支援の提供等

### 2 連携協定について

#### (1) 連携事項

- ・製造、物流業の品質や生産性向上に関すること
- ・エネルギーの有効活用に関すること
- ・働き方改革など、企業経営課題に関すること
- ・その他、行政課題の解決や地域の活性化に資する事項

#### (2) 特色

株式会社エネルギー・コミュニケーションズが保有するIoTプラットフォームについては、次のような特色を備えています。

- ・ものづくり産業向けに特化した環境として整備されており、県内ものづくり企業の生産性向上に関する実証実験として最適な実証実験の場を構築します。
- ・AI/IoT等のデジタル技術を導入した際のROI（投資対効果）測定が難しかったことにより導入に踏み込めなかった県内企業において、製造現場でのROI測定モデルとして実証実験を行うことにより、新しい取組に向けた経営判断につなげていくことができます。